

MicroCal PEAQ-ITC のメンテナンス方法

定期的なシステム洗浄は良好な測定に必要です。汚れは蓄積しますとベースラインノイズ発生等の原因になります。ここではシステムの汚れを防ぐことに必要なメンテナンスについてご案内しております。

- ◆ システムの洗浄方法はサンプルにより異なります。そのためユーザーによる至適化が必要です。
- ◆ 日ごろからセル、およびシリンジを *Cleaning Method* の *Wash* で洗浄していただくとシステムを良好な状態に保つことができます。
- ◆ メンテナンスで使用する試薬の中には劇物に該当するものもございます。特に昇温した場合には十分な注意が必要です。取扱い時は、手袋、保護眼鏡をご使用ください。
- ◆ 使用されない場合でも 1 ヶ月に 1 度はセル内部の超純水を交換してください。

【日ごろのメンテナンス】

サンプル測定毎にシステムをクリーニングする必要があります。

Run ワークスペース内の *Clean* をクリックし（または、ソフトウェア画面右下にある洗浄操作のプルダウンから）、サンプルの性質に応じたセルとシリンジの洗浄を実行します。

Wash を用いると、セルおよびシリンジが 14% Decon90（または 20% Contrad70、以下洗剤）で洗浄され、その後、超純水でリンスされます。


最後のサンプル測定の後には、セルを *Soak* にして洗浄すると、よりシステムを良好な状態に保つことができます。可能であればシステムチェックを実施し、システムに異常がないか確認することをお勧めします。最後に、サンプルセル、リファレンスセルにフレッシュな超純水をいれ、キャップを閉めます。

【長期間使用しない場合のメンテナンス】

- 1) セルを *Soak*、シリンジを *Wash* で洗浄します。
- 2) 可能であれば、システムチェックを実施します。DP 値、滴下時のレスポンスに異常がないことを確認後、シリンジを *Rinse* で洗浄、乾燥させます。
- 3) 最後に、サンプルセル、リファレンスセルにフレッシュな超純水をいれ、キャップを閉めます。

上記洗浄は汚れがひどい場合のメンテナンスにも対応しています。

【システムチェック】

- 1) システムチェックに使用する超純水は脱気を **15分以上**行うことをおすすめします。
- 2) システムチェックを実施する前にセルとシリンジのクリーニングを実施します。
- 3) 洗浄後、サンプルセル、シリンジにフレッシュな**超純水**を充填します。
- 4) *Run Experiment* の *Methods* タブ内にある、19 Injections.itcm (MicroCal Method) を開きます。
- 5) *Edit Settings*  をクリックし、*Reference Power* を **5 μ cal/sec** に変更します。
- 6) 測定を実施します。
- 7) 以下のポイントを確認します。
 - ・ DP 値が *Reference Power* の設定値に近いこと
 - ・ 小さな滴下シグナルが繰り返し同じように出ていること

再現性のないピークやベースラインのポジションに問題がございましたら、弊社にご連絡いただき、測定結果をお送りください。

お問い合わせ先

スペクトリス株式会社
マルバーン・パナリティカル事業部
カスタマーサポート窓口（ヘルプデスク）
support.japan@malvernpanalytical.com
フリーダイヤル 0120 57 17 14